授業づくり研修講座 実践レポート

 座間市立栗原中学校 　　　氏名　 田附 和枝

単元名　　　第２学年「提案を組み立てる 」

実践のポイント（工夫）

 ・授業の中でグループ活動を積極的に取り入れる。

 ・構成の基本形を提示することで、理由（根拠）を意識させて表現させる。

 実践内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　段階 |  　　　 学習内容・学習活動 |  　指導上の留意点 |
|  導　入 | ・提案のテーマを班で決める。 | ・幾つかのテーマを用意しておき、その中から選ばせる。 |
|  展　開 | ・各班で選んだテーマについて根拠となる事実をグループで話し合う。（２～３つ位）・事実から考えた考察をグループでまとめる。・予想される反論を幾つか考える。・個人で構成の基本型に当てはめて提案文を書かせる。 | ・プリントを使い、各自が記入していく。・反論に対する意見についての根拠も考えさせる。・用意したプリントに班で話し合った内容をもとに静かに書かせる。 |
| まとめ | ・ペアで書いた文章を読みあい、コメントを書く。 | ・積極的に交流させる。 |

振り返り（成果と課題）

 ・ペアやグループで考えたり交流することで、一人では考えられない具体的な根拠を挙げ　ることができることは良いと考える。特に、本校は校内研究で授業の中で場面に応じたグ　ループ活動を積極的に取り入れているので、グループ活動はすんなりとできる。

 ・話し合いでは活動が出来ていても、構成の基本形があっても筆がなかなか進まない生徒　に対して、今後の書く指導を考えていく必要がある。